

## 平成 28 年第 1 回（2 月）瀬戸内市議会定例会一般質問通告一覧表

### 代表質問

発言 順序	会 氏 派 名	質問方 法	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1	改革 廣田 均	一問一 答	1. 市長が進める行財政改革全般について	(1) 中期財政計画において、将来基金が底をつき財源不足となる可能性が指摘されているが、現状をどのように見て行財政全般の改革を行っていくのか	市 長
			2. 瀬戸内市総合計画について	(1) 後期基本計画の 5 つの施策大綱について、それぞれ何を最重点としているのか (2) 今後の主な取り組みとして、交通安全施設整備事業、市民運営交通支援事業、JR 駅前将来構想策定事業、児童虐待防止事業、マイ保育園サポート事業、高齢者等見守体制整備事業、瀬戸内海の路ネットワーク海岸清掃事業、瀬戸内ブランド構築事業、学力向上プロジェクト事業（教育大綱関連）とあるが、具体的に何をするのか	市 長 副 市 長 教 育 長 担 当 部 長
			3. 瀬戸内市人口ビジョンについて	(1) 人口分析の中で本市は合計特殊出生率が 1.34 と、県下では笠岡市に次いで 2 番目に低い、2030 年に 1.64、2060 年に 2.07 を目標としている。具体的には何をするのか	市 長
			4. 瀬戸内市地域公共交通網形成計画について	(1) 計画の概要は。また、実施の時期はいつ頃になるのか	担 当 部 長
			5. 長島の世界遺産登録について	(1) 地元関係者から登録についての強い要望があり、市長として努力すべきと考えるがいかにか	市 長

発言 順序	会 派 氏 名	質問方 法	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
2	日本 共産党 瀬戸内 市議団  厚東晃央	一括質 問一括 答弁	1. 住民生活を支えるまちづ くりについて	(1) 平成 29 年度から要支援 1、2 が介護保険制度の介護予防 給付から地域支援事業に移行される。現在のサービスが継 続し受けられること、個人負担の費用を増やさないことな どが最低条件と考えるが、そのための施策は (2) 国で介護保険制度の見直しが進められているが、市民を守 るための手立ては (3) 高齢者や交通弱者の生活を支えるための移動手手段の確保は 瀬戸内市地域公共交通網形成計画を進めることだけでは十 分でないと考えるが、そのための施策は	市 長
			2. 安心して子育てできるま ちづくりについて	(1) 平成 27 年 11 月議会で呂久保育園を民営化対象園と示し関 連予算が提出されたが、議会にて修正削除された。今後ど うするのか (2) 特別な支援を必要とする子どもを地域で育てるための施策 をどのように展開していくのか (3) 特別支援学級の体制を改善すべきではないか (4) 放課後児童クラブ（学童保育）における指導員（支援員） の確保は、市の責任で行うべきではないか (5) 保育料の今後は	市 長 教 育 長
			3. 市民病院について	(1) 給食業務委託を導入した経緯と詳細は (2) 医療補助業務委託を導入した経緯と詳細は (3) 清掃業務委託を導入した経緯と詳細は	病院事業管理者 担当部長
3	せとうち クラブ  石原芳高	一括質 問一括 答弁	1. 空き家対策について	(1) 今後対策が必要な空き家・空き地は増加することが考えら れ、地域の力を借りて対策を講じる必要がある。行政の後 押しが必要だと考えるが、所見を問う (2) 寒波の到来によって、空き家の水道管が破裂したケースが 報道されていたが、空き家の水道管の管理の指導はどうな っているのか	市 長 担当部長

発言 順序	会 氏	派 名	質問方 法	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
				2. 学校教育について	(1) ICT機器が導入されて1年以上が経過した。劇的な変化や効果を期待するのは時期尚早の感もあるが、実証や検証をすべきではないのか	教 育 長
				3. 応援寄附金について	(1) ふるさと納税をされた方に対して、寄附の使用状況等の事後報告はどのようにされているのか (2) 全国的に競争が激化しているが、ふるさと納税をしてもらえるよう特色を持たせた取り組みの考えは	市 長 担当部長
				4. 予算編成過程の公開について	(1) 予算編成過程を公開する考えは	市 長 担当部長
4	瀬戸内 市民の会	小野田光	一問一 答	1. 行財政改革について	(1) 平成27年に行政改革プランを示している中で、平成28年当初予算では財政調整基金を6.5億円切り崩しているが、その要因は。将来展望を含めた見解を	市 長 副市長 教育長 担当部長
				2. 下水道事業について	(1) 平成28年度から下水道事業が特別会計から企業会計へ移行するが、全体計画を含めた市民への影響は	市 長 副市長 担当部長
				3. 過疎地対策について	(1) 合併後ますます地域間格差が広がったと感じる市民も多いが、持続可能な地域として安心して暮らしていける方策は	市 長 副市長 担当部長
				4. 子育て支援について	(1) 昨年の11月議会で、邑久保育園の民営化という話が突如出てきたが、保育園、幼稚園全体の計画は	市 長 教育長 担当部長

発言 順序	会 派 氏 名	質問方 法	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
5	公明党 瀬戸内 市議団 河本裕志	一 問 一 答	1. 教育行政について	(1) 県は教育県岡山を目指して学力向上に努めているが、どの ように考えているのか ① 学力向上の進め方への考えは ② 教職員のタブレット端末活用での効果は ③ N I Eを取り入れる考えは (2) 経済的理由により子ども達に学ぶ機会の格差が生じること のないように、学校教育においては、どのような対策を考 えているのか	市 長 教 育 長
			2. 働きやすい職場環境につ いて	(1) 行政報告では、環境部や子ども包括支援センター設置な ど、機構改革を実施して新たな組織づくりを考えている が、市民サービス向上のためには、働きやすい職場の環境 づくりが必要と考える ① 特定事業主行動計画の具体的な取り組みは ② 病休や育休中の職員に対する復帰プログラム計画はある のか ③ 子育てや介護などの負担軽減を考えると、フレックス勤 務等の導入を考えないのか	市 長
			3. ふるさと納税について	(1) 地域再生法の一部改正により、地方創生応援税制（企業版 ふるさと納税）が創生される ① ふるさと納税の考え方は ② 組織変更による狙いは ③ ふるさと納税（市への寄附金）のアップは考えないのか	市 長

発言 順序	会 派 氏 名	質問方 法	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
6	鼎の会 布野浩子	一 問 一 答	1. 農業政策について	(1) 農産物の瀬戸内市としての独自化、ブランド化に向けての考えは (2) ほかの部署や事業者との連携はどうとっていくのか (3) 瀬戸内市全体の農業のあり方を協議する瀬戸内市農業政策審議会を立ち上げてはどうか (4) 瀬戸内市振興公社の現状は (5) 瀬戸内市振興公社のあり方についてどう考えているのか	市 長
			2. 地方創生について	(1) 地方創生推進交付金の対象となる先導的な事業には、官民協働、地域間連携、政策間連携など横のつながりが大切になるが、その体制をどう構築するのか	市 長
			3. 教育について	(1) まちづくりは人づくりと言われる。人を育てるための公民館、新図書館の役割をどう捉えていくか	市 長 教 育 長

## 個人質問

発言 順序	議席番号 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁を 求める者
7	6 番 川野泰一	1. スポーツの振興について	(1) 市内の優秀な選手を顕彰し、市の行事に参加してもらってはどうか	市 長 教 育 長 担当部長
		2. 学校の施設整備について	(1) 呂久中学校の大規模改修のスケジュールは (2) 工事期間中の安全対策、騒音対策は	市 長 教 育 長 担当部長
		3. 県道虫明長浜線の拡幅について	(1) 取り組み状況は	市 長 担当部長
8	1 番 角口隼一	1. 「住み続けるなら瀬戸内市」を実現する教育と家庭学習支援のあり方について	(1) 通学路の危険な箇所や注意喚起箇所をマップ等の目に見える形にして、児童生徒及び保護者、地域の方々に示しては (2) 公立小学校の学校選択制や小規模特認校の導入を検討しては (3) 家庭学習アシスト研究実践事業の市内各学校への広がりやアウトメディアの啓発による成果は	市 長 教 育 長 担当部長
		2. 人と自然が織りなすしあわせ実感都市の実現に向けてあるものを活かす施策の実現について	(1) 自主防災力の強化のため、防災センターを自主防災組織の方々が利用しやすいように整備しては (2) ゆめトピア長船の館内に、親子で遊べる拠点を整備しては (3) 市民が憩いやすいように、市内の公園におむつ交換ができるトイレや休憩所、駐車場などを整備しては (4) 呂久駅、長船駅の駅舎及び待合所が耐震性を満たし安全性が担保されるよう整備を要望しては (5) ブルーラインについて、主要地方道への格上げを要望しては (6) 市有財産の売却または運用をどのように進めていくのか (7) 行政改革による財政負担の軽減と市民活動の活性化を両立させる方策は	市 長 副 市 長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
9	5 番 森 俊之	1. 岡山県市町村総合事務組合について	(1) 福利厚生関連について平成 27 年度の協議内容は。また、変更のあった事項は (2) 福利厚生部門の負担金、給付について見直しを求めている	市 長 担当部長
		2. 前島の大坂城築城残石群について	(1) 大坂城築城残石群の管理状況はどうなっているか (2) 学校現場において、郷土の歴史を示す史跡に実際に触れる機会を、どのようにつくっているか (3) 今後の管理についてどのように考えているか。清掃ボランティアなどを活用してはどうか	市 長 教 育 長 担当部長
		3. ふるさと納税について	(1) 平成 27 年度のふるさと納税額は、業務委託前と後で対前年比伸び率はどう変化したか (2) Setouchi Kirei に認定されている品が、ほとんどお礼の品に入っていないのはなぜか (3) 当市では、寄附金額 3 万円以上の方に対してお礼の品を送付しているが、1 万円からに下げてはどうか	市 長 担当部長
10	2 番 高間直美	1. 骨髄移植のドナー支援について	(1) 骨髄バンク事業に対する所見は (2) 骨髄バンクドナー助成金制度を設けては	市 長 担当部長
		2. CO2削減について	(1) 地球温暖化対策実行計画の改訂はしないのか (2) 「ごみ 30%減量作戦」の今後の計画は (3) 太陽のまちプロジェクトとして自然エネルギーを学べる体験型の施設を作っては	市 長 担当部長
		3. 子育て支援について	(1) 早期療育のため、早く医師の意見書がもらえるような対策をしては (2) 子育て支援のための交流の場を拡充しては	市 長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
11	11 番 島津幸枝	1. 市県民税・国民健康保険税等の徴収について	(1) 国民健康保険税の引き下げの検討状況は (2) 本税及び延滞金の減免制度を拡充しては (3) 市税、延滞金等の徴収の方針をいつ、どのように変更したのか	市 長 副 市 長 担当部長
		2. 生活困窮者支援について	(1) 生活相談支援センターとの連携と生活困窮者支援制度の拡充について問う ① 各課からの紹介件数は ② 生活困窮世帯の子どもの学習支援事業、就労訓練事業（中間的就労）についての創設・整備をしては ③ 生活困窮者応急援護資金貸付制度の創設をしては (2) ひきこもり対策の検討内容は	市 長 副 市 長 担当部長
		3. 新火葬場整備について	(1) 新火葬場整備事業の計画の遅れにより財源充実に影響はでないのか	市 長 副 市 長 担当部長
12	15 番 馬場政教	1. 下水道事業の企業会計移行について	(1) 組織体系の整備と法適用準備事務の体制について、どのような計画で行っているのか (2) 固定資産管理、企業会計方式による財務諸表作成等の業務が新たに発生するが、事務処理等の執行体制は十分か (3) 管理者は非設置となるが、今後全部適用を考えていかないのか (4) 今後の経営計画について、公費、私費の負担区分の検証と繰出（繰入）基準の検証をどのように行い、下水道使用料の改正を検討していくのか	市 長 担当部長
		2. 図書館利用の促進と読書活動の推進について	(1) 図書館利用の促進と読書意欲を高める取り組みとして「読書通帳」を導入してはどうか (2) 本に挟まったごみや汚れを落とし、古くなった書籍の臭いを取り除くために「ブックシャワー」を導入してはどうか (3) 電子図書の導入については、どのような方向で進んでいるのか	市 長 副 市 長 教 育 長 担当部長



発言 順序	議席番号 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
		3. 今後のまちづくりについて	(1) 太陽のまち創生総合戦略と瀬戸内市総合計画の内容について、 どのような点に留意し実施計画を策定するのか (2) 邑久保育園の民営化について、瀬戸内市の目指す保育行政を議 会等に今後どのように説明していくのか	市 長
13	3 番 日下俊子	1. 通学路及び生活道路の安全・ 安心について	(1) ゾーン 30 の実績と今後の計画は (2) 歩道を通行できなくなった自転車をどう守るのか (3) 自転車左側通行に伴う道路等の点検と今後の対策は	市 長 教 育 長 担 当 部 長
		2. 有害鳥獣対策について	(1) 鳥獣被害防止対策協議会の詳細と設置の進捗状況は (2) 鳥獣被害対策実施隊の詳細と設置の進捗状況は (3) 鳥獣被害防止対策協議会、鳥獣被害対策実施隊の設置により、 どのように変わるのか (4) 有害鳥獣に対する一刻も早い対応が必要と考えるが、今後の計 画は	市 長 担 当 部 長
		3. 地域公共交通網の整備につ いて	(1) 公共交通不便地域の定義は (2) アンケート調査の結果は (3) 公共交通不便地域人口をどう把握しているのか (4) 今後のスケジュールと計画は (5) 段階的に導入する理由は	市 長 副 市 長 担 当 部 長
14	19 番 室崎陸海	1. 太陽のまち創生総合戦略につ いて	(1) J R 邑久駅から太陽光発電所経由牛窓行きの電車（仮称太陽の まち電車）を考えてみてはどうか (2) 港の整備と海の浚渫状況は (3) 住みよいまちづくりの実現に向けてもろもろの環境整備の状況 は	市 長 副 市 長 担 当 部 長

発言 順序	議席番号 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁を 求める者
15	20 番 中村勝行	1. 応援寄附金（ふるさと納税） について	(1) 企業版ふるさと納税制度が始まるが、どのように対応するのか (2) お礼の品について、もう少し種類を増やすなどの工夫が必要ではないか	市 長 副 市 長
		2. 過疎対策について	(1) 過疎地域（牛窓地域）の自立促進計画で5年間 54 億 6,700 万円余りの事業を計画しているが、5年後の牛窓地域の人口目標は	市 長 担当部長
		3. 旧御茶屋跡について	(1) 今後の活用をどう考えているか	市 長 副 市 長
		4. 市長の給与について	(1) 市長、副市長の給与の減額を平成 30 年 3 月 31 日までとしたのはなぜか	市 長
16	12 番 原野健一	1. メガソーラー事業からなる新しいまちづくりについて	(1) 土地の賃貸収入やソーラー事業に関わるもろもろの税収が見込まれるが、従前のメガソーラー事業の計画にあったコンテンツ産業、またスマートグリッド構想を実現できるまちづくりはできないか (2) メガソーラー事業の本拠地周辺にある尻海、長浜、師楽地区を一体的に新しいまちづくりのモデル地区として認定し、市外、県外、国外からの移住者や多くの観光客を呼び込む政策を考えては	市 長 副 市 長 担当部長
		2. 公衆トイレの整備について	(1) 長船地域に公衆トイレが少ないと思われるが、観光客や市民のために新設しては	市 長 副 市 長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁を 求める者
17	18番 日下敏久	1. 新図書館建設、新病院建設事業について	(1) 計画から事業完了までの経過を総括した上での反省点（よかった点、悪かった点）は	市 長 副 市 長 教 育 長 病院事業管理者 担当部長
		2. 企業誘致について	(1) 尻海地区に夢実現の企業誘致の状況は (2) 早急に市内の農業地域から農村地域工業等導入促進法による工業等導入地区の指定をしては (3) 邑久浄化センター東側の土地を活用しては	市 長 副 市 長 担当部長
		3. 瀬戸内市振興公社について	(1) 農地中間管理機構との協力体制は (2) 農業者の高齢化が進む中で耕作放棄地も多くなり始めているが、振興公社の今後のあり方は	市 長 担当部長
		4. 場外馬券場について	(1) 現在の状況は	市 長 副 市 長 担当部長
		5. 新火葬場整備について	(1) 計画策定の進捗状況は	市 長 副 市 長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
18	16 番 小谷和志	1. 住みやすいまちづくりについて	(1) 瀬戸内市地域公共交通網形成計画を実施するための決意は (2) 市民病院を利用しやすくするための公共交通対策は	市 長 副 市 長 担当部長
		2. 安全・安心なまちづくりについて	(1) 防災行政無線の聞こえにくい地域への対策は (2) 生活道路や用水路の整備状況は	市 長 副 市 長 担当部長
		3. 税金等の徴収の対応について	(1) 徴収の方針が変わったことによって市民に混乱を及ぼしたと感じることはないか	市 長 副 市 長 担当部長
19	9 番 竹原 幹	1. まちづくり会議の提言、公共施設再編計画、地域一括交付金について	(1) まちづくり会議の提言から 2 年が経過したが、公共施設再編計画及び地域一括交付金の取り組み状況は	市 長 副 市 長 教 育 長 担当部長
		2. 平成 28 年の主要施策について	(1) 広報紙や新聞の記事に今年は J R 駅周辺と公園の整備についての検討を本格化させるとあるが、どのように取り組むのか	市 長 担当部長